

# 鳥が丘



## 「子どもたちの可能性を引き出す学びの実現に向けて」

教務主任 竹田 可奈

夏休みが明けて1か月経ちました。「今年の夏はいつまで続くのか」というほど暑い日が続きました。熱中症への懸念から校庭での外遊びができないなど、心配が尽きない日々でしたが、ようやく暑さが和らぎ、秋の到来を肌で感じるようになってきました。

14日(土)に行われる運動会に向けて、各学年の練習や応援団、リレーの選手も意欲的に練習に励んでいます。今年の運動会のスローガンは「心一つに上りあげ！鳥小運動会」です。勝っても負けても楽しめるためにはどうしたらよいかを運動会実行委員が考え、このスローガンに決まりました。私たち教職員一同も、この子どもたちの思いが実現できるよう、全力で支えていきます。

近年、認知的な能力と対になる表現として、『非認知能力』という用語がしばしば聞かれるようになりました。これは、テストでは表すことのできない人間的な力です。

- 【メタ認知】自分の学習状況を把握し、それを踏まえて行動を調整する力
- 【知的好奇心】物事に興味・関心をもち、自分から進んで取り組む力
- 【知的謙虚さ】自分の意見に謙虚な姿勢をもち、意見を柔軟に変更する力
- 【共感性】困っている人に共感したり、助けてあげたりする思いやり

これらの力と学力は関係しており、普段の学習を通して向上することもできますが、行事を通して育むこともできます。子どもたちが何事にも興味をもち、主体的に楽しみながら活動を行うことができる、「運動会」や「遠足」、「宿泊体験学習」などは、学校として大切にしていきたいと思えます。運動会を例で挙げると、6年生の表現は「ダンス実行委員」が選曲し、一部振り付けを行いました。子どもたちが「自分たちで考え」「協働して創る」経験は社会に出て求められる力だと思えます。

運動会当日も様々な場面で活躍する子どもたちの姿を見ることができると思えます。子どもたちのがんばる姿に、ぜひ温かい拍手をお願いいたします。